

令和4年度

まちづくり推進部 平鹿地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿地域局
所属長名	佐々木 健悦

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域に寄り添った行政サービスを提供し、市民の満足度が向上するとともに、地域の住民が生き活きと暮らすまちづくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ①市民満足度の向上に向け、丁寧な窓口対応と接遇マナーの向上が求められています。
- ②コロナ禍や少子高齢化により、地域防災力の低下や住民の心身の健康への影響が懸念されます。
- ③担い手の高齢化やコロナ禍により、地域産業の継続と伝統文化や観光行事の存続が危ぶまれています。

3. 今年度の『スローガン』

新しいまちづくりへ 一歩踏み出そう！
～地域価値を再認識し、住み良いまちとは何か考えよう～

4. 今年度の方針

- ①市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局を目指します。
- ②安心して安全な地域振興により、住民が生き活きと暮らせるように支援します。
- ③地域の資源を活かした魅力ある産業の振興とともに、観光や伝統行事の活性化を図ります。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築
	取組内容	①明るいきれいさつと来庁者への積極的な声掛けで、親しみやすい窓口対応を推進します。 ②丁寧で分かりやすい説明により、市民に寄り添いながらきめ細やかに対応します。 ③情報共有を密にし、重要課題には全庁で取り組みます。
(2)	実現したい成果	安心・安全で、住民が生き活きと暮らせる地域支援
	取組内容	①「火災予防・交通事故防止・防犯」の意識付けを図り、地域住民とともに安心安全なまちを目指します。 ②自治組織や地域コミュニティの取り組みを支援し、市民の交流機会の増加を図ります。 ③公共施設や入浴施設などの適切な維持管理に努め、利用者へのサービス向上を目指します。 ④地域にあった地区交流センター設立に向け、その在り方を市民と一緒に検討します。
(3)	実現したい成果	地域資源を活かした魅力ある産業の振興と伝統行事の活性化
	取組内容	①次世代への地域の伝統・文化の継承を推進し、地域の活性化を推進します。 ②これからのイベントや地域行事の方向性を検討し、地域の賑わい創出に取り組みます。 ③地域の産業や観光の課題を共有し、地域資源を活用した取り組みを検討します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・来庁者に対し率先して明るい雰囲気や声掛けしており、丁寧な対応をしている。
- ・マイナンバーカード取得率向上のため、平日時間外や休日の臨時申請窓口設置や企業への出張申請などを実施した。

(2) 安心・安全で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・各種健診受診率向上のため、未受診者への積極的な受診勧奨により、昨年度より受診率が向上している。
- ・地域からの要望にはいち早く現地確認を行い、対応するとともに、解決に至らない場合でもご理解いただくよう丁寧な説明を行った。
- ・浅舞地区を対象に、地域住民が地域の現状と課題や地区交流センターの役割などを学ぶ機会として、地域コミュニティ講演会を開催した。

(3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と伝統行事の活性化

- ・あやめまつり及び平鹿音楽祭は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、一部規模を縮小しながらも開催し、多くの来場者を楽しんでいただいた。
- ・浅舞八幡神社祭典については、開催に向けて準備を進めていたが、開催直前の会議で神社側の意向もあり、神事及び簡易な神輿行列のみとし、イベントとしての祭りの開催とはならなかった。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・引き続き来庁者への寄り添った声掛けを行うとともに、窓口アンケートでのご意見を参考にしながら市民サービス向上に取り組みます。

(2) 安心・安全で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・未受診者への更なる勧奨を行うとともに、きめ細かな健康相談を実施します。また、高齢者世帯の見守り体制を強化し、関係機関と連携しながら、必要なサービスが適切に受けられるよう取り組みを進めます。
- ・降雪期に向け、計画的な道路等の除排雪を行いながら、突発的な要望については作業員の状況を見極めながら柔軟に対応します。
- ・浅舞地区の地区会議や諸団体代表だけでなく、若い住民など幅広い年齢構成によるワークショップを開催し、地区交流センター設置に向けた気運の向上を図ります。

(3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と伝統行事の活性化

- ・槻の木光のファンタジーは、より多くの方に楽しんでいただくよう、開催期間を拡大して実施します。
- ・浅舞八幡神社祭典の次年度実現に向け、関係町内会代表により話し合いを行います。3年間未実施であったため、各町内の山車製作責任者等を対象に課題の洗い出しとその解決に向けた意見交換を実施します。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・窓口アンケートでは、77%の来庁者から「大変満足」「満足」との回答をいただいた。来年度も、課全職員による来庁者への積極的な声掛けや解りやすい説明などにより、市民サービスの向上に取り組みます。
- ・マイナンバーカードの交付については、平日時間外・休日の臨時申請窓口の実施や企業への出張申請などに取り組んだ結果、2月末現在の平鹿地域の交付率は57.4%となりました。引き続き関係部署と連携し、普及促進に取り組む必要があります。

(2) 安心・安全で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・今年度、積極的な受診勧奨に取り組んだことにより、受診率は特定健診85.2%、大腸がん検診80.8%、胃がん検診67.2%となり、いずれも昨年度より向上しました。来年度も早めの受診勧奨に取り組む、更なる受診率の向上に努めます。
- ・地域住民等からの要望については、丁寧な説明により実施の可否を含め概ね理解をいただくことができました。また、冬期の除排雪も大きなトラブルなく実施することができました。今後も引き続き市民の声に寄り添い、公共施設の適切な維持管理に努めます。
- ・今年度は、浅舞地区を対象とした地域コミュニティ講演会を開催したほか、地区会議担当職員を対象としたワークショップも実施しました。また、地域づくり支援課と連携を取り、令和7年度の地区交流センター化に向けた具体的なスケジュールを設定しました。来年度からは、幅広い世代や地域の団体を対象としたワークショップを開催し、地域住民の意識の醸成に努めます。

(3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と伝統行事の活性化

- ・浅舞八幡神社祭典以外のイベントについては、コロナ感染対策を行いながら実施し、多くの来場者に恵まれました。来年度は八幡神社側から祭典開催の意思も確認できましたので、新型コロナウイルスの5類移行ということもあり、コロナ前と同等の開催に向けて準備を進めていきたい。
- ・町中心部のスーパーマーケットが撤退し、町内の空洞化に拍車がかかる恐れがあるため、ショッピングエリアの利活用も含め、空洞化対策を進める必要があります。